

研究課題 妊娠期に助産師が行うメンタルヘルスクリーニングに関する実践報告 2
～継続支援を目的としたメンタルヘルスケアシステムの効果～

実施期間

2021年4月1日～2023年10月末日

対象者

当院でメンタルスクリーニングを行い、2021年4月1日～2022年3月31日に分娩に至った妊婦様

研究機関

地方独立行政法人 市立吹田市民病院 看護局

目的

子ども虐待防止や母親の健康維持のための周産期のメンタルヘルスケアは不可欠であり、そのために各周産期医療機関がそれぞれの施設の特性に応じたケアのあり方を考え、役割を果たすことが求められています。当院では妊娠初期から産後までの包括的なメンタルヘルスケアのシステムを作成し、それに基づいた支援を展開しています。

今回妊娠初期のメンタルヘルスクリーニングの結果から、メンタルヘルスクリーニングシステムに基づいた支援カンファレンス状況とその内容を明らかにします。

方法

この研究は、上記実践期間にスクリーニングを行った妊婦様の人数と Whooley、GAD-2、育児支援チェックリスト、VAWS7項目でチェックが付いた人数を抽出し、項目別で整理します。その後、当院のメンタルヘルスクリーニングシステムに基づいた支援カンファレンス①と②を行った人数とその推移を把握し、継続的な支援の可否を検討します。

意義

妊娠期からの母親の不安軽減やメンタルヘルスケアの質向上の一助となります。

個人情報の保護

本研究で得られた結果は、貴重な資料として学会に公表されることがあります。その場合対象妊婦様の個人情報は、外部から特定できないように厳重に管理されます。この研究についてさらに詳しい内容を知りたい場合、他の妊婦様の個人情報保護やこの研究の独創性の確保に支障がない範囲で、研究計画、方法及び結果についての資料を見ることができます。この研究に参加するかどうかは対象となる妊婦様の自由で研究の参加を断っても不利益を受けることは一切ありません。参加を拒否される場合は下記までご連絡下さい。

【問い合わせ先】

地方独立行政法人 市立吹田市民病院 5西病棟
研究責任者： 助産師 古家 徳恵
電話番号：06-6387-3311
内線 (2515)